

京都教育大付属高の1年生  
**舞鶴水産実験所で  
ウニの発生観察など**  
滞在して臨海実習体験

長浜の京都大学フイールド科学教育研究センター・舞鶴水産実験所で、七月二十八日、一日の五日間、京都市の京都教育大学教育学部付属高校自然科学コースの一年生四十人が滞在し、臨海実習を体験した。ウニの人工受精による発生の観察をしたり、湾内の磯でシユ



ウニの人工受精の実験をする高校生たち

ノーケリング講習などを受けた。文部科学省が自然科学分野の人材育成を目指して、高校を対象にしたスーパー・サイエンス・ハイスクール事業を実施。全国の二十六校が事業の指定を受けており、その一校の同付属高校は生命のダイナミズを観察しようと、臨海実習に取

り組んでいる。同コース四十人は二つのグループに分かれて来鶴。ウニから卵と精子を採取し、人工受精させて観察を続けた。二日目は湾内で京大生からシユノーケリングの講習を受けて磯の生物を調査。最終日は同実験所助手の益田玲爾さんから魚類心理学の講義を受けた。

|

|

|

|

|

|